

平成28年度 第4回酒田市元気みらいワークショップ



日時 平成28年9月17日(土) 14:00~16:30

場所 酒田市役所1階フリースペース

参加者 公募に申し込んでくださった19歳から55歳までの12名の方々
(第4回は2名欠席で10名参加)

テーマに関連する課の職員

(政策推進課、まちづくり推進課、社会教育文化課、商工港湾課、観光振興課 計9名)

ファシリテーター 遠藤智栄氏

仙台市在住。東北各地でまちづくりやNPO、ワークショップ等を支援。

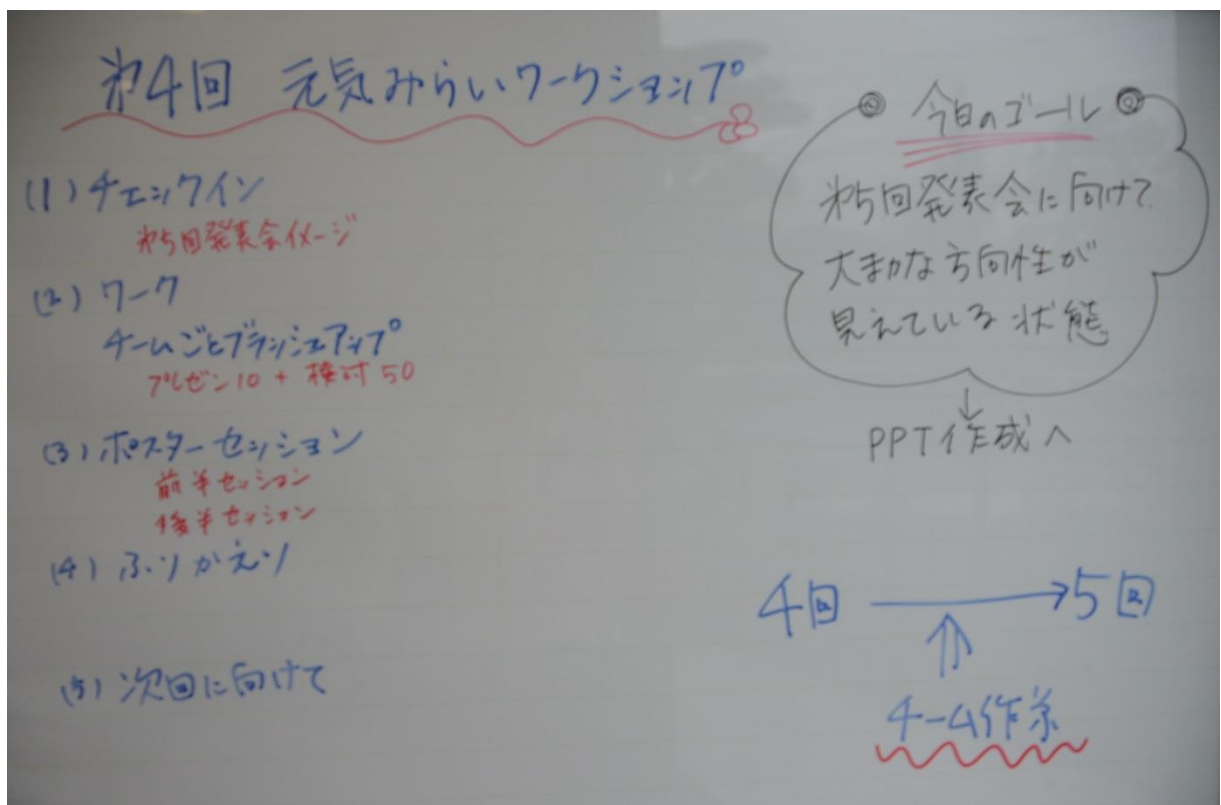
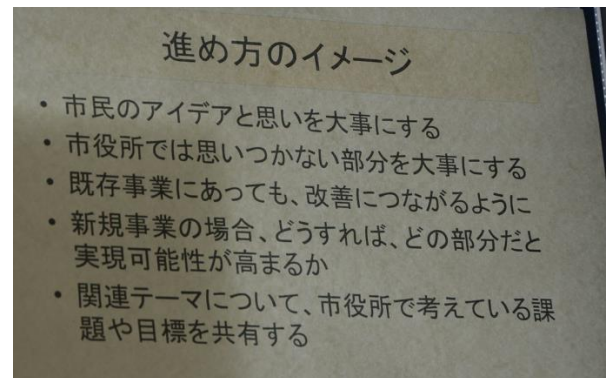
■ワークショップ

○チェックイン・前回のふりかえり

まずは、チェックイン。今日の作業の進め方、そして次回発表会について事務局から説明しました。

また、発表会に向けて、どんな資料を作成するのか、時間外準備の注意点などを確認しました。

なお、今回は政策推進課、まちづくり推進課、社会教育文化課、商工港湾課、観光振興課から計9名の職員が、それぞれ関連するテーマの話し合いへ参加しました。



〇ブラッシュアップタイム

最初に、関連する課の職員に対して、前回までの話し合いの内容を参加者が説明。
その後、一緒に検討に入りました、

テーマ	提案内容	目標	こんな効果が！
若者と施設活用	・港座で映画復活！！	・港座で映画上映(日常的に) ・全体的な遊休施設の活用	・施設が活用される ・集団でのおでかけが増える ・若者が「まちに出る理由」になる
市民が主役のまちづくり	自治会を対象とした提案型事業 コンテストやプロポーザル形式で	酒田市民全体が住みやすい酒田をつくる	定住者増、UIターン増
空き家キラキラ人口増加構想	・移住体験(海・山・市内)…交流人口を増やして「住みたい！」と思ってもらう。 ・廃校舎利用 →宿泊施設、大人の学校 ・DIYサポート、スケルトン住宅の提供→子育て世代向け ・リノベーションコンテスト ・解体費補助	・酒田ファンを増やす！ ・人口増加！若い世代がイキイキ ・地域活性化	交流人口(1週間から1か月滞在) 『住みたい！』と思う人が必ず増える！
ITエンジニアの育成	・情報プラザの復活(NEO) ・子ども達に遊びから入るプログラミング教育 ・新しい技術を仕事とする大人の常駐 ・公益大との連携 育成→採用→新規起業・新分野への進出→採用増 →要育成のサイクルを作る	高校卒業後ITエンジニアを目指す人 →2020年までに300人 (2020年から義務教育化)	短期:IT人材が増加 中期:新しい産業の助けとなる 人口流出の歯止め→若者の仕事増 長期:日本版シリコンバレー
酒田愛不足 ～みんなが観光大使～	・対象:小中学生・高校生 酒田をPRするために各小中高で「酒田のいいところ探し」をして希望ホールで大人の前で発表する。	・酒田市民がどこに行っても酒田をPRできるくらい酒田を知っていること ・「やっぱり酒田がいいな～」と思える街づくり	短期:酒田のいいところを発信してもらえる 中期:観光客が増える 長期:Uターン、Iターンが増える、人口が増える
新井田川の中心で酒田愛を叫ぶ！！	・観光客を対象としたイベントや景観	・川のにぎわい(人、物、文化が集まる)	・町がキレイになる ・愛着がわく ・酒田に帰ってきたくなる



酒田愛不足～みんなが観光大使～チーム



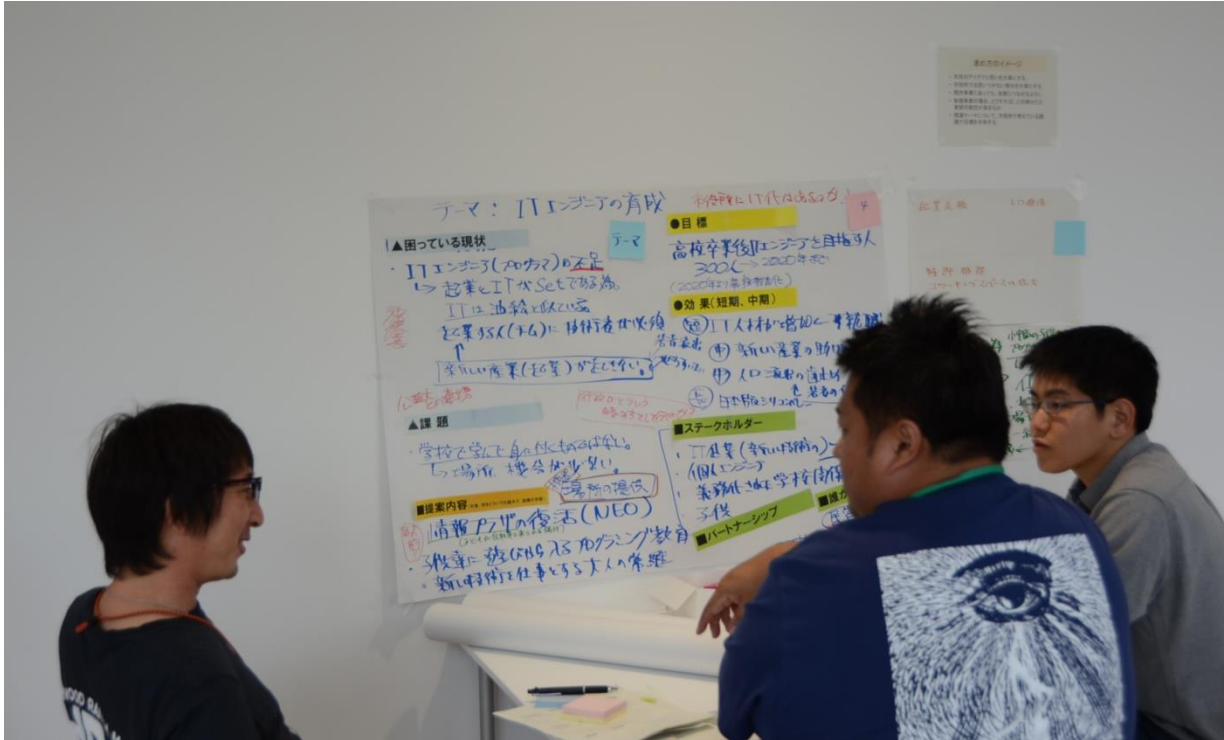


・・・ Sakata Love

新井田川の中心で愛を叫ぶ！チーム



ITエンジニアの育成チーム



ITエンジニアが必要だのん!



空き家キラキラ人口増加構想チーム



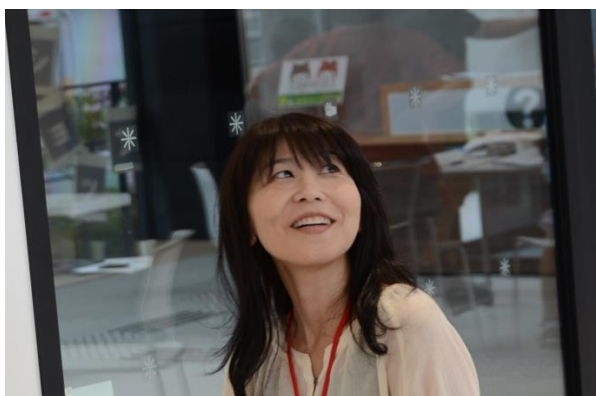
若者と施設活用チーム



市民が主役のまちづくりチーム



ところで、このワークショップ、本当に笑顔が絶えないんです。



閑話休題・・・

○ポスターセッション

チームごとのブラッシュアップ終了後、それぞれ記入した事業提案の紙の前に移動して、意見交換を行いました。

2人の想い

- 遊休施設の活用!! 苦痛にほわり
- 酒田に映画館!!

港座

市の即成利便性もあつちやる人がいる... (市の応援(補助金))

使う人の得やすさ

にきかい

格定で使える!!

白濁活性化 不公平

自主上映

酒田の魅力を再発見

出羽遊園地 桜伝しりかん

2,000円

活用 ← 遊休

中心市街地 ← 市全域

他にどんなのがある?

- パレノビル
- 市街地の民間ビル
- 廃校の活用
- 中町庁舎
- 産業会館

!SA 2130

やめてない7-11店

空き家?

ねらい

- 活用されていない施設を有効にする
- にぎわい創出
- いかにして表現者があふれるか

対象

- 使われていない民間施設(無くしたくない施設)
- 中心市街地

利用者

- 市民
- 活動内容 ← 創作活動
- アーティスト活動

しくみ

- 対象施設を市民が利用する場合に市の即成
- 利用料金の割引1分... 市1/2 村1/2 と負担

細石 オート 市

win win

<提案内容>

無関心層を感心させる為には...

例) 酒田人生ゲーム

行政の課題も+ 行政の事も知ってもらい 提案者 ⇒ 市民(関心あり) 協賛者 ⇒ 行政

市民主役のまちづくりのきっかけとなる...

自分たちで行かなくなるのだから... 考え始める時がくる

組織づくり...

各世代の代表者を選出

10~20代	10人	計
30~40代	10人	30人
50代~	10人	40人

+の 別の団体も参入

課題整理

酒田市で問題となっている分野についての事業提案

提案した結果...

協働事業実行

の時の瞬間がきた!!

空き家を無くしたい

再利用
〇化

荒性
若い世代のUターン(30世代)
空き家への活用
DIYに愛着

森
解体更地化
進めgood.
河火地域の規制。
廃校
→下の学校

皆川
防災
市民意識↑
どうして新築?
空き家ありに

河火

空き家

空の住居
2.14%はいる。

H27 3件
H28 6件↑
どうして増える?
どうして持ち続ける?

亡くなった後
困る
自治会見か/1戸。

補助金
算入(10万円) 500万円
直す50万円

地域の思い。

知らなかった。
PRの仕方。

11-12月
解体即売却
やるといい
個人資産
↓
下敷

貸すのはいいんだけど
海田市は更地化が
負のイメージ
利付の物件に
土地がある
Uにできる
やるという意識
転用できる

コメンタリーはいい。
バンド練習とかは使ったら...
体験宿泊 = 使えよ
お風呂とかお風呂
意味は
合宿には使えそう。
天童や宇都宮の宿舎に
お金かかるといえる

卸売の仕方の
工夫。
理解の待たれる
仕組み

解体後利用の
利活用する個人
補助金
どうか?

解体は所有者負担判断。
流通する循環に則して。
Pilot ↑ 問題

加付
補助金
Type A Type B
Type C Type D

学性のため借りた
Pilot 高い
シェアハウス

国控資産税
通知は関係ある
カラ一書画

4+PR

お記

→ どうして1-2の
割合

↓ 空き家 keyword

人口増

テーマ： ITエンジニアの育成 市役所にIT代はあさむ？ 4

▲困っている現状

- ITエンジニア(人材)の不足
 - 起業とITがSetである為。
 - ITは油絵と似ている
 - 起業する(PM)に技術者が必須
 - 新しい産業(起業)が乏しい。
- 学校で学んで身に付くものはない。
 - 場所、機会が少ない。

▲課題

- 学校の先生に身に付くものはない。
- 場所、機会が少ない。

▲提案内容 (対象、何をどうしているか、起業の手段)

情報リテラシーの復活(NEO)
(子どもか自給菜で来るの研修)

- ・ 指導に遊ばせながらプログラミング教育
- ・ 新しい技術と仕事とを大人が常駐

▲目標

高校卒業後エンジニアを目指す人
300人 → 2020年まで
(2020年より義務教育化)

▲効果(短期、中期)

- ① IT人材が増加 ← 専職職
- ② 新しい産業の助けになる
- ③ 人口流出の歯止め
- ④ 若者の仕事場
- ⑤ 日本版シリコンバレー

▲ステークホルダー

- IT企業(新規技術的)
- 個人エンジニア
- 義務化の学校関係者
- 子供

▲パートナーシップ

- 誰がどこまで
- 民間
- ITサイクルを作る

テーマ： 酒田愛不足へみんなが観光大使へ

▲困っている現状

- 若い子を中心に酒田を深く知らない。
- 名物土産、名物料理が少ない。
- Uターン・Iターンが少ない?!
- 小・中학생は酒田の勉強以外の知識が乏しい。

▲課題

- 地域の大人と関わる機会が少ない。

▲提案内容 (対象、何をどうしているか、起業の手段)

支援小中高生
酒田をPRする為、各小・中高で「酒田のいいところ探し」をして希望ホルルを大人の前で発表する。

▲目標

- 酒田市民だけでなく酒田PRを知らず酒田を知ること。
- 「やっぱり酒田がいいな」と思わせること。

▲効果(短期、中期)

- ① Uターン・Iターンが増える、人口が増える。
- ② 酒田のいいところを発信して伝える。
- ③ 観光客が増える。

▲ステークホルダー

- 酒田のイノベーション、清然とIターン、外に出る人、子供、良き。
- 酒田のいいところ、酒田のいいところ、酒田のいいところ。

▲パートナーシップ

- 企業
- 学校
- 観光大使?
- 資料館

▲誰がどこまで

- 委員会・社会教育課・観光振興課・NPO

▲困っている現状

- 継続的な催しにつなげにくい。
- 町民)をまきこみにくい。
- 若者が忙しくて誘いにくい。 (婚活、勉強 etc)
- 廃校舎が活かされてない。
- 代行の代行

酒田に対する愛着が薄い。酒田の歴史を知らない。

仮テーマ 川のにぎわい。 新井田川の中で酒田の歴史を伝える。

■提案内容 (対象: 町民に広く呼びかけ、地域の活性化)

- ① 町民 → 観光客
- ② 小野寺の資料 P3
- ③ 市町の協働

イベント景観 (6)

■目標 川のにぎわい (人物文化が集まる)

■ステークホルダー 住民、町内会、船街留まり人、飲食店、子供会、消防、警察、国県、観光客、JR

■誰がどこまで 自治体、町内会、民間

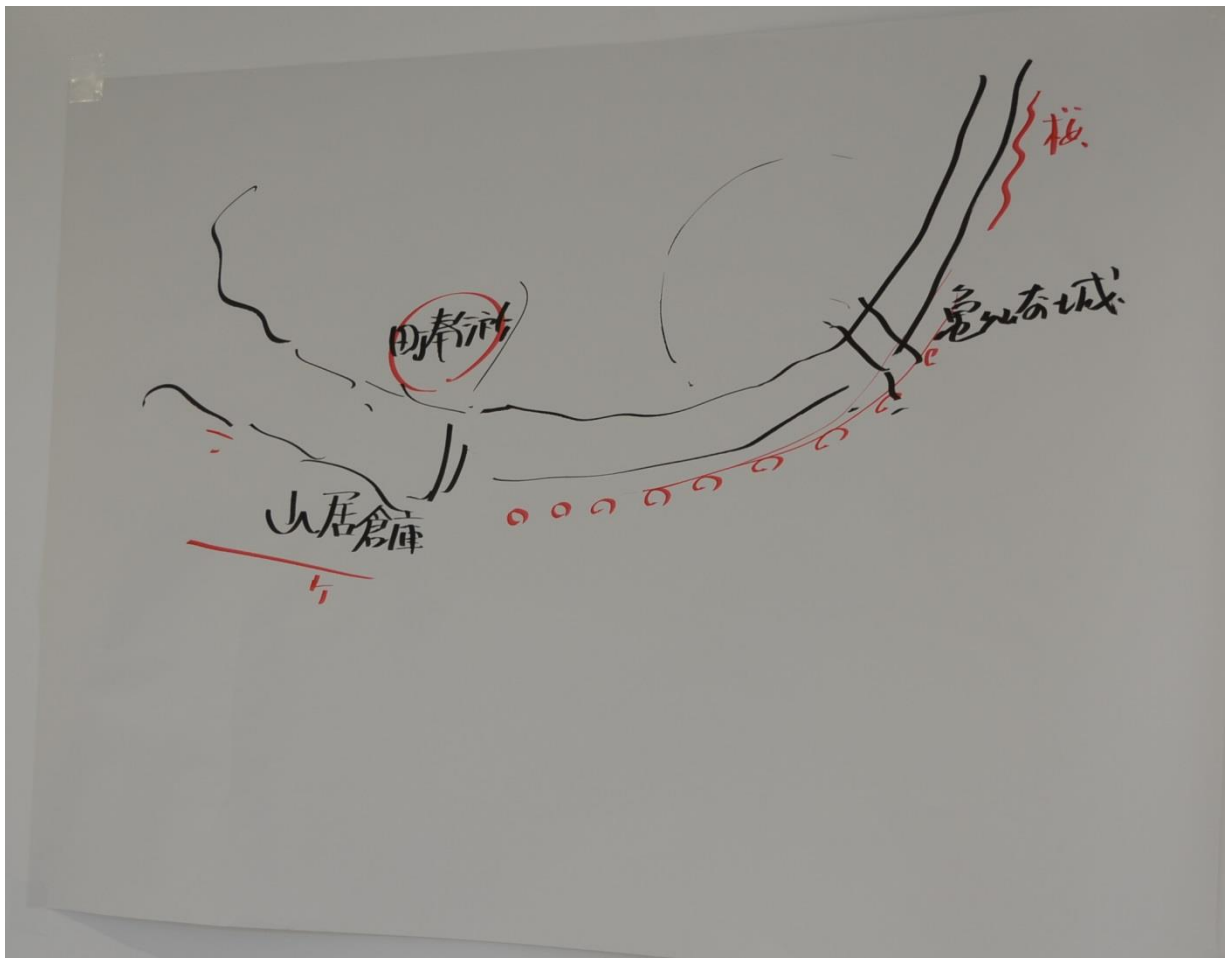
■効果(短期、中期) 町民が来い、愛着がわく、酒田の歴史を知りやすくなる。

■パートナーシップ 学校、子供会、観光客、地域

新井田川沿いの活性化。酒田の歴史を伝える。酒田の歴史を伝える。酒田の歴史を伝える。

新井田川沿いの活性化。酒田の歴史を伝える。酒田の歴史を伝える。酒田の歴史を伝える。

新井田川沿いの活性化。酒田の歴史を伝える。酒田の歴史を伝える。酒田の歴史を伝える。



〇ふりかえり

参加者と職員、全員で本日のふりかえり。
今日の感想を述べ合いました。



●ふりかえりで出た意見

【参加者】

- 職員と話せて、自分の考えがうまくまとまってきた。
- 若い人が参加したことにより、違う視点がおもしろかった。
- 「プログラミングってどう役立つの？それがどんな風に起業に役立つの？」という質問をされて、自分ではわかっていることから、説明を「はしょってしまっている」ところを、「もっと丁寧に説明しないと理解してもらえない」と感じるよい機会になった。
- この期に及んで広げちゃったよ。酒田愛不足というテーマだが、愛が不足しているのではなく、愛を発信するのが不足している。

- 全国的には、酒田を知らない人が多い。山形と言え、さくらんぼ、芋煮会。酒田らしさの発信が必要。
- 酒田愛不足、市の事業と結びつけられるイメージできた。実現したい！
- 新井田川、実現に向けて市長への発表がんばる！
- 10年後の酒田を楽しみにした内容。
- 市役所の制度や事業を知ることができて、とても良かった。

【職員】

- 行政と参加者と、考える根本は同じだなあ、今まで行政として歯止めをかけていたりしたところがあったのだが、こんなに同じなら、もっとやりようがあるのかなあと再発見できた。
- ITのパワーを感じた。酒田でそれを使った仕事を志向する人が増えればいいなあ、そういう場を作れたらなあ。酒田でも都会でもできる仕事なら、酒田でやる人増えると思う。
- 今やっている自分の仕事に繋がるなあと感じた。
- 若い大学生が一人で頑張っていて、よく考えたなあ。

■その他

- 第4回と第5回の間で、チームで集まって作業をしたい場合、場所等は事務局で確保します。ご希望の場合は、ご相談ください。
- 次回は、発表会です。ポスターセッションは、プレゼン8枚までを基本とします。

次回、発表会は、平成28年10月22日(土) 14:00~17:00
会場は、平田総合支所3階広域行政組合議場 です。

以上で閉会しました。

